



金属深絞り
プレス加工

富士金属株式会社

豊中市原田中 1-12-3
TEL.06-6854-8651 <https://www.fuji-kinzoku.co.jp/>
創業 / 1950年(昭和25年) 従業員数 / 140名(2026年1月現在)



ホームページを
見てみよう!

金属の板から自動車や家電の部品を作る 「深絞りプレス加工」ってどんな技術?



1枚の金属板からプレス機でコップや筒のような深さのある部品をつくる技術です。

深絞りプレス加工は、金属の板を金型という型に押し込み、強い力で深いコップや筒の形に一気に変形させる技術です。溶接せずに一つの部品として作れるため、軽くて丈夫な製品を、大量に、安く作れるのが特徴です。自動車、家電、新エネルギー(蓄電池や充電器等)に使われる部品など、身の回りの多くの製品に使われています。



深絞りプレス加工の特徴や工程は?

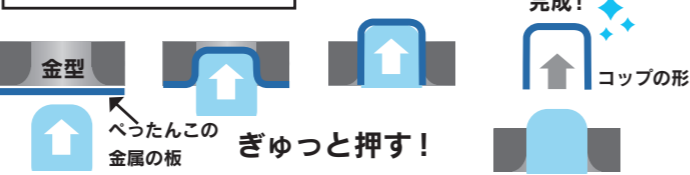


プレス機で1枚の平板から板材の周辺を中央によせ、コップのような容器状に加工します。

1枚の金属の板からできているとは思えない、複雑な形の部品を作ります。

金属板をプレス(圧力をかけること)して、様々な形に加工する工法をプレス加工といいます。中でも1枚の金属の板から圧力により深い容器状のものを作る工法を深絞りプレス加工といいます。高度に設計された金型を使うことで、突起のついた複雑な形のものも溶接なしで作ることができます。少ない工程で済むので、電力消費量や二酸化炭素を減らせる環境にやさしい工法です。

深絞りプレス加工の流れ



1枚の金属の板が、様々な形に加工されます。



作った部品は、こんなところで使われています。



自動車

- エンジン
- 燃料系部品(給油口)
- エアバッグ等



家電

- エコ給湯
- 掃除機
- ファンヒーター
- ウォシュレット等



新エネルギー

- モーター
- ジョイントパイプ
- 蓄電池
- 充電器等

金属の部品はどのように作られるの?



「より軽い部品を」「より短い工程で」という希望に応えるため、多くの準備をして進めています。



①営業

お客様とお話し、「こんな部品がほしい」などの要望を聞いて様々な提案をします。



②設計・開発

お客様の希望する部品の作り方を考え、パソコンを使って具体的な形にします。



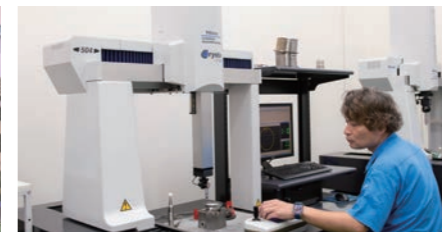
③金型製作

金属の板を部品の形に整えるための金型を作ります。難しい形にもチャレンジして作り上げます。



④製造(プレス加工)

プレス機を使って金属の板から部品を作ります。新しい部品が次々に作り出されていきます。



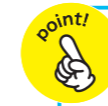
⑤検査

できあがった部品が正確に作れているか検査します。ほんの少しのことで見のがしません。



⑥出荷

完成した部品を集めて、フォークリフトでトラックに積み込み、お客様にお届けします。



世にないモノづくりを目指し、常に挑戦しています。

過去の常識にとらわれず、世にないモノを創りだす。私たちはクリエイティブな技術者集団として、日々挑戦しています。苦労を重ねて新しい製品を開発し、お客様の喜ぶ姿を見た時、それまでの苦労が喜びに変わります。これからも挑戦を続け、社会の役に立ち続ける会社でありたいと思っています。(山中社長)



働く人の声を聞いてみよう!

Q&A

Q.お仕事の内容を教えてください。

お客様から「こういう部品が欲しい」などの要望を聞き、会社の仲間とどうしたらその部品が出来るかを一緒に考えて作る仕事をしています。お客様の要望に応じて感謝されるととても嬉しくなります。



技術営業 長谷部 友哉さん

Q.お仕事の内容を教えてください。

自動車や家電製品に使われる金属部品を作るための金型の設計や製作、および試作を行っています。難しい形状に何度もチャレンジし、自分が設計した金型で部品が完成した時は大きな達成感が得られます。



技術 西山 聖也さん

Q.お仕事の内容を教えてください。

トランスファープレス機を使い、自動車のエアバッグに使われる重要な部品を製造しています。品質や精度が求められる製品づくりに携わると、技術力が向上している実感がありやがいを感ずります。



製造 宮田 涼さん